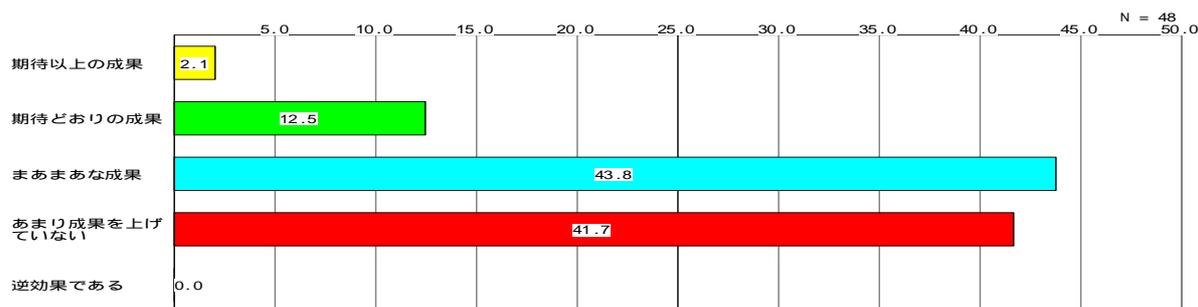


v. 電子商取引（EC）における年間取引額

100万円以下が39.2%と最も多く、次いで100万円超～200万円15.7%、500万円超～1,000万円13.7%となっている。

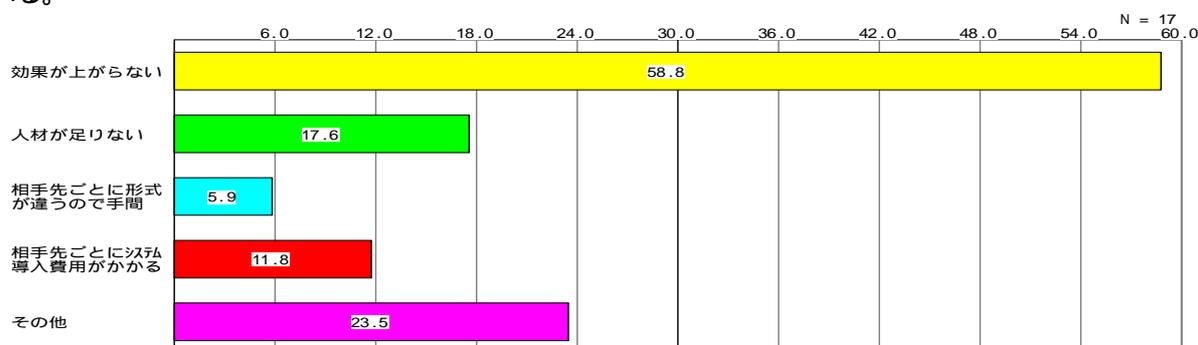
w. 電子商取引（EC）の成果

まあまあな成果が43.8%と最も多く、一定の成果があると考えられる。次いでわずかな差ではあるが、あまり成果を上げていない41.7%、期待どおりの成果12.5%となっている。



x. 電子商取引（EC）が成果を上げていない、または逆効果の理由

効果が上がらないが58.8%と過半数を占め、次いでその他23.5%、人材が足りない17.6%となっている。



y. 総合的にみたインターネット利用の効果

経営に役立つ情報が得られたが62.6%と最も多く、次いで他社との情報交換が容易になった39.0%、自社のイメージが向上した17.1%となっている。情報の受発信としての利用効果が圧倒的に多く、まだまだインターネットを十分活用しきれていないと考えられる。

